



進むイカダ、弾ける笑顔 (7/20)

▶ 個性的なイカダで川下り



今年で34回目を迎える札幌の夏の風物詩「豊平川イカダ下り大会」が、豊平川の幌平橋から一条大橋までの間で行われ、53組約250人が参加しました。

約2.5kmのコース上には、3カ所のえん堤があり、イカダから転落する参加者もいて河川敷の観客から大きな歓声が上がっていました。

また、大会に合わせて行われた中央区主催の「豊平川ふれあいクリーン作戦withイカダ下り」では、観客など約350人が参加し、河川敷のごみ拾いを行いました。

ごみはゴール地点に集められ、45リットル用ごみ袋約20個分になりました。

▶ クリーン活動の様子



▶ 「ゴミ拾い侍」見参!

水はともだち! (7/31)

▶ ボランティアと遊ぶ子どもたち



JRA札幌競馬場(北16西16)において「サマーフェスタ」が開催され、近隣に住む親子連れなど約420人が夏の1日を楽しみました。

この日は、日差しがとても強く、子どもたちは水を入れたたらいの中で気持ちよさそうに遊んでいました。

世界に向けて (7/30)



▶ みんなそろってイチニ・イチニ

市立桑園小学校(北8西17)において「平成20年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が行われ、同校児童や地域住民など約1,300人の掛け声が電波に乗って世界中に響きました。

これは開校80周年を迎える同校が同じく80周年のラジオ体操巡回を誘致し実現したものです。

広告